

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 石光商事株式会社

コード番号 2750 URL <http://www.ishimitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森本 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長

(氏名) 山根 清文

TEL 078-861-7791(代表)

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	8,082	△13.7	108	59.3	78	144.6	30	13.5
21年3月期第1四半期	9,362	—	68	—	32	—	26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	3.81	—
21年3月期第1四半期	3.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	17,498	7,001	38.9	852.84
21年3月期	17,489	7,001	38.9	852.58

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,813百万円 21年3月期 6,812百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	16,578	△11.5	146	—	118	—	75	—	9.43
通期	34,266	△4.8	459	—	413	—	220	—	27.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 8,000,000株 21年3月期 8,000,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 10,190株 21年3月期 10,150株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 7,989,846株 21年3月期第1四半期 7,989,850株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部企業において、在庫調整の一巡や生産・輸出の改善など景気底入れの兆しは見えるものの、雇用情勢は依然として厳しく、個人消費も減少するなど、景気は先行き不透明な状況が未だ続いております。

当社グループの主力マーケットである飲料・食品業界におきましても、原材料価格が比較的安定してきたものの、個人消費の停滞による外食産業の低迷などに伴う需要減退から脱しておらず、依然厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当第1四半期連結累計期間の売上高は、取り扱い商品や取引先などの選択と集中に努めたこと、また昨年の取引先の倒産の影響などもあり、8,082百万円と前年同期比1,280百万円減少しました。

しかしながら、当社グループは、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業を目指し、「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、販促提案、品質管理等の全ての工程に関わり合って商品の価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎつつ、当期は特に業績の回復を最重要課題として取り組み、ロスのゼロ化、コスト削減にも最大限の努力を重ねてまいりました。

その結果、利益面につきましては、原材料価格の安定および円高の影響等による売上総利益率の改善に加え、販売費および一般管理費の節減等の効果により、営業利益は108百万円となり、前年同期比40百万円の増加となりました。また、経常利益は78百万円と前年同期比46百万円の増加、四半期純利益は30百万円と前年同期比3百万円の増加となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における各品目別の売上高の状況は次のとおりであります。

① コーヒー生豆

モカの原料となるエチオピア産コーヒー生豆の輸入が昨年より途絶えていることによる販売数量の減少および前連結会計年度後半からのコーヒー相場下落による販売単価の下落により、コーヒー生豆の売上高は1,060百万円（前年同期比17.1%減少）となりました。

② 飲料製品および原料

レギュラーコーヒーの売上高は家庭用のパック商品が減少したものの、飲料メーカー向けバルク商品が増加したため、前年同期比0.9%増加しました。インスタントコーヒーの売上高は飲料メーカー向けバルク商品が増加したものの、家庭用のパック商品が減少したため、前年同期比16.0%減少しました。茶類の売上高は家庭用紅茶ティーバッグが減少したものの、飲料メーカー向けの紅茶原料が増加したため、前年同期比4.6%増加しました。その結果、飲料製品および原料の売上高は1,144百万円（前年同期比2.1%減少）となりました。

③ 常温食品

輸入商品や自社ブランド商品の売上高は農産缶詰、フルーツ缶詰およびパスタ・オリーブオイル等のイタリアからの輸入食品が減少したため、前年同期比22.2%減少しました。国内メーカー商品の売上高は主に東南アジア向けの輸出が増加したものの、国内販売が減少したため、前年同期比3.5%減少しました。その結果、常温食品の売上高は2,310百万円（前年同期比7.7%減少）となりました。

④冷凍食品

輸入水産品加工品の売上高は外食店向けのエビ加工品や食品メーカー向けのタコ加工品が減少したため前年同期比24.9%減少しました。輸入調理加工品の売上高は中国産製品に対する警戒感の減少や生産国の変更等により前年同期比29.0%増加しました。国内メーカー商品の売上高は国内販売および東南アジア向けの輸出が減少したため、前年同期比14.0%減少しました。その結果、冷凍食品の売上高は2,086百万円（前年同期比13.6%減少）となりました。

⑤食品原料

塩蔵野菜の売上高が増加したものの、トマト加工品および生鮮野菜が減少しました。また、小豆加工品は取引先の倒産のため取扱いはなくなりました。その結果、食品原料の売上高は1,364百万円（前年同期比24.6%減少）となりました。

⑥その他

その他の売上高につきましては、115百万円（前年同期比38.2%減少）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債および純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が17,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円の増加となりました。

負債合計は10,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円の増加となりました。

純資産は、当第1四半期連結累計期間の四半期純利益が30百万円となりましたが、配当金の支払15百万円等により、前連結会計年度末とほぼ同額の7,001百万円となりました。

(2)連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた現金および現金同等物（以下、「資金」という。）は110百万円（前年同期に比べ得られた資金は48百万円増加）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益73百万円および仕入債務の増加額213百万円等に対し、売上債権の増加額122百万円およびたな卸資産の増加額70百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は26百万円（前年同期に比べ使用した資金は3百万円減少）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出17百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は239百万円（前年同期は503百万円の収入）となりました。

これは、借入金の収支による支出175百万円と、社債の償還による支出35百万円等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における資金は、前連結会計年度末に比べ155百万円減少し、1,606百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通り推移しており、平成21年5月15日付にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,704,224	1,859,825
受取手形及び売掛金	5,586,825	5,464,154
商品及び製品	3,474,569	3,287,869
未着商品	442,920	562,750
仕掛品	11,397	8,291
原材料及び貯蔵品	48,520	48,158
その他	258,465	271,901
貸倒引当金	△137,500	△132,684
流動資産合計	11,389,422	11,370,266
固定資産		
有形固定資産	2,677,922	2,697,938
無形固定資産	175,383	183,229
投資その他の資産		
投資有価証券	2,824,289	2,812,130
その他	945,151	918,496
貸倒引当金	△527,435	△507,646
投資その他の資産合計	3,242,005	3,222,980
固定資産合計	6,095,311	6,104,149
繰延資産	14,181	15,343
資産合計	17,498,915	17,489,759

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,000,275	2,787,112
短期借入金	880,000	827,800
1年内償還予定の社債	110,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	1,050,444	1,074,608
未払法人税等	5,119	13,481
賞与引当金	60,325	77,110
その他	1,285,882	1,205,687
流動負債合計	6,392,046	6,095,800
固定負債		
社債	555,000	590,000
長期借入金	2,662,497	2,865,647
退職給付引当金	84,634	131,287
その他	803,445	805,359
固定負債合計	4,105,576	4,392,293
負債合計	10,497,623	10,488,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	5,996,739	5,982,292
自己株式	△4,942	△4,929
株主資本合計	6,971,996	6,957,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,063	△3,386
繰延ヘッジ損益	△155,941	△142,162
評価・換算差額等合計	△158,005	△145,549
少数株主持分	187,301	189,651
純資産合計	7,001,292	7,001,665
負債純資産合計	17,498,915	17,489,759

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	9,362,695	8,082,494
売上原価	8,322,463	7,025,100
売上総利益	1,040,232	1,057,394
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	4,227	17,799
報酬及び給料手当	262,624	263,454
賞与引当金繰入額	54,363	56,382
その他	650,843	611,137
販売費及び一般管理費合計	972,059	948,774
営業利益	68,173	108,619
営業外収益		
受取利息	3,385	1,103
受取配当金	1,704	2,300
持分法による投資利益	22,953	8,243
受取賃貸料	—	6,300
その他	13,755	9,826
営業外収益合計	41,798	27,773
営業外費用		
支払利息	31,810	27,081
貸倒引当金繰入額	30,349	—
その他	15,585	30,488
営業外費用合計	77,745	57,569
経常利益	32,226	78,823
特別利益		
賞与引当金戻入額	5,653	—
特別利益合計	5,653	—
特別損失		
固定資産除却損	9,277	4,894
特別損失合計	9,277	4,894
税金等調整前四半期純利益	28,603	73,929
法人税、住民税及び事業税	2,338	2,542
法人税等調整額	5,264	39,524
法人税等合計	7,602	42,066
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5,818	1,435
四半期純利益	26,818	30,427

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,603	73,929
減価償却費	34,679	47,206
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	34,333	24,603
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44,782	△16,785
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	115	△46,653
受取利息及び受取配当金	△5,090	△3,404
支払利息	31,810	27,081
為替差損益 (△は益)	4,559	797
持分法による投資損益 (△は益)	△22,953	△8,243
固定資産除却損	9,277	4,894
売上債権の増減額 (△は増加)	△150,750	△122,670
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△51,289	△70,337
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,126	213,163
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,948	△16,756
その他の負債の増減額 (△は減少)	194,063	36,833
その他	633	293
小計	107,388	143,952
利息及び配当金の受取額	3,399	3,314
利息の支払額	△33,626	△27,893
法人税等の支払額	△14,826	△8,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,335	110,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2	△2
有形固定資産の取得による支出	△10,661	△17,965
無形固定資産の取得による支出	△280	△1,414
投資有価証券の取得による支出	△891	△904
子会社株式の取得による支出	—	△800
貸付けによる支出	△58,599	△5,000
貸付金の回収による収入	43,534	1,460
その他の支出	△4,546	△3,288
その他の収入	1,007	1,364
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,439	△26,550

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,070,000	80,000
短期借入金の返済による支出	△236,800	△27,800
長期借入れによる収入	25,000	35,000
長期借入金の返済による支出	△274,918	△262,314
社債の償還による支出	—	△35,000
リース債務の返済による支出	—	△11,537
自己株式の取得による支出	—	△13
配当金の支払額	△74,465	△15,209
少数株主への配当金の支払額	△5,656	△2,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	503,160	△239,112
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,789	△797
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	524,267	△155,603
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,272	1,762,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,011,539	1,606,748

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

当社グループは同一セグメントに属する食品等の製造、加工、販売を行っており、該当事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

2 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社および在外支店がないため該当事項はありません。

3 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注および販売の状況

当社グループ(当社および連結子会社)は単一セグメントに該当するため、品目別に生産、受注および販売の状況を記載しております。

(1) 生産実績および受注状況

当社グループのうち連結子会社において飲料製品(レギュラーコーヒー)の生産を行っておりますが、グループ事業全体における重要性が低いため、生産実績および受注状況については記載しておりません。

(2) 商品仕入実績

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	997,751	73.22
飲料製品および原料	662,487	88.38
常温食品	2,023,846	88.08
冷凍食品	2,042,068	100.74
食品原料	1,304,373	77.59
その他	99,686	61.93
合計	7,130,214	86.12

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記のコーヒー生豆の金額には、飲料製品および原料の製品を連結子会社2社で生産するために使用する原料分を含んでおります。

(3) 販売実績

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	1,060,781	82.92
飲料製品および原料	1,144,011	97.88
常温食品	2,310,829	92.32
冷凍食品	2,086,532	86.44
食品原料	1,364,348	75.39
その他	115,991	61.78
合計	8,082,494	86.33

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。